

捨てられていた命を、 「一生モノ」の革に。

ROKUBO × LEATHERECTION は、北海道で駆除されるエゾ鹿の皮を、狩猟から製品化まで一貫管理で「柔らかく、軽く、強い」革に仕立てる、北海道・北見発の鹿革ブランドです。

73.9万頭 全国のニホンジカ捕獲数 (令和6年度速報値・環境省)	15.7万頭 北海道のエゾシカ捕獲数 3年連続で過去最多(北海道庁)	0.5%以下 獲った鹿の皮が製品として 活かされる割合(当社分析)	2時間以内 仕留めてから処理工場へ 搬入するまでの時間
---	--	---	-----------------------------------

私たちのものづくり

北海道では、森林や農作物を守るために年間15万頭を超えるエゾ鹿が駆除されています。しかしその皮のほとんどは、革として活用されることなく捨てられています。私たちは「この命を捨てられたままにしない」という思いから、肉は食肉に、皮は革に——ひとつの命を丸ごと活用する循環をつくっています。

革の品質は鮮度で決まります。ハンターが仕留めてから2時間以内に処理工場へ搬入し、解体後すぐに原皮を冷凍。問屋や商社を介さず、原皮の管理から鞣し・縫製まで50以上の工程を国内の職人と一貫して管理しています。大量生産はできない代わりに、希少な高鮮度のエゾ鹿革が生まれます。

北海道の山で 狩猟	2時間以内に 処理工場へ	解体・原皮を 即冷凍	製品に合わせて 原皮を選別	国内タンナーで 鞣し	日本の職人が 縫製
--------------	-----------------	---------------	------------------	---------------	--------------

エゾ鹿革という素材

軽い。 髪の毛より細い繊維が何重にも絡み合う構造のため、同じ大きさのバッグでも体感が変わります。	柔らかいのに強い。 硬さで耐えるのではなく、しなやかさで耐える。引き裂きに強く、劣化しにくい。
最初から柔らかい。 「育てる」前に身体に馴染みます。長時間持ち歩いても疲れにくい革です。	雨に強く、手入れがいらない。 通気性が良く、濡れても自然乾燥で元に戻ります。天然の油分を多く含むため、オイルケアは基本的に不要です。

鹿革は、昔から残っている革なのではない。
現代の鞆に必要な性能を、昔から持っていた革なのだ。

東大寺正倉院に保存されている鹿革製品は、1300年以上を経た現在も柔軟性をほとんど失っていないことが『正倉院紀要 第28号』（宮内庁）で報告されています。